

2023年1月18日朝刊中部版

中学校則見直し 生徒が実践発表

静岡市教育委員会は17日、市立中学校での校則見直しに関する実践発表会を同市葵区の教育センターで開いた。未広中と西奈中の生徒がオンラインで参加し、生徒自らが変更に取り組んだ校則の内容や見直し後の変化などを市内小中学校の生徒や教諭に紹介した。



静岡市教委 意見取り入れ

未広中は2021年度「校則見直し委員会を発足させ、「安全をテーマに見直しに着手し、生徒による「校則見直し委員会を発足させ、「安全をテーマに見直しに着手し

雨具や靴の色、自由に

た。全校生徒へのアンケートで変更すべき校則を調査。色が限定されていた雨具や靴、靴下は複数の色を選べるようにし、登下校時に防寒着の着用を認めるルールに変えた。

発表会では、生徒会メンバーが動画を使って経緯を説明した。「白のみから黒の靴も履けるようになり、部活の靴で登下校できるようになった」「防寒着を着られるようになり寒くなくなった」などの喜びの声を紹介。今後も校則改定の検討を続けると発表した。

市教委は21年度に策定した校則見直しのガイドラインで、市内の公立小中学校に対して児童生徒の意見を取り入れながら、価値観の多様化や人権尊重の観点を持った校則改定を促している。（政治部・池合通子）

校則見直しの経緯や改定後の変化などを説明した実践発表会
＝静岡市葵区の教育センター

記事を読んで、問いに答えなさい。

- ①発表した中学校は、どんなテーマで校則の見直しに着手したか。
()
- ②生徒の手による「校則見直し委員会」では、どんな方法で見直しを進めたか。
()
- ③静岡市教育委員会では、どんな観点や方法での校則改定を促しているか。
()
- ④記事を参考に、「校則見直しの意義」についてあなたの考えを60字以内で書きなさい(句読点を含む)。

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校／特別活動、道徳、総合)

年 組 名前

2023年1月18日朝刊中部版

中学校則見直し 生徒が実践発表

静岡市教育委員会は17日、市立中学校での校則見直しに関する実践発表会を同市葵区の教育センターで開いた。未だ中と西奈中の生徒がオンラインで参加し、生徒自らが変更に取り組んだ校則の内容や見直し後の変化などを市内小中学校の生徒や教諭に紹介した。



静岡市教委 意見取り入れ

未だ中は2021年度「校則見直し委員会を発足させ、「安心安全で、誰もが気持ちよく過ごせる環境をつくる」

雨具や靴の色、自由に

記事を読んで、問いに答えなさい。

- ①発表した中学校は、どんなテーマで校則の見直しに着手したか。
(「安心安全で、誰もが気持ちよく過ごせる環境をつくる」)
- ②生徒の手による「校則見直し委員会」では、どんな方法で見直しを進めたか。
(全校生徒へのアンケートで変更すべき校則を調査し、ルールを変えた。)
- ③静岡市教育委員会では、どんな観点や方法での校則改定を促しているか。
(児童生徒の意見を取り入れながら、価値観の多様化や人権尊重の観点を持った校則改定。)
- ④記事を参考に、「校則見直しの意義」についてあなたの考えを60字以内で書きなさい(句読点を含む)。

原点に戻って「校則は何のためにあるのか」を考え、最終的には児童生徒の利益につながるものになれば見直しの意義があるだろう。(60字)

校則の見直しに取り組むために、実際に生活している児童生徒の意見を取り入れることには大きな意義があると考えられる。(54字)

校則をどのようなテーマや観点で見直すことが児童生徒のためになるのかをきちんと踏まえて行うことに意義があると考えられる。(57字)

など

た。全校生徒へのアンケートで変更すべき校則を調査。色が限定されていた雨具や靴、靴下は複数の色を選べるようにし、登下校時に防寒着の着用を認めるルールに変えた。

発表会では、生徒会メンバーが動画を使って経緯を説明した。「白のみから黒の靴も履けるようになり、部活の靴で登下校できるようになった」「防寒着を着られるようになり寒くなくなった」などの喜びの声を紹介。今後も校則改定の検討を続けると発表した。

市教委は21年度に策定した校則見直しのガイドラインで、市内の公立小中学校に対して児童生徒の意見を取り入れながら、価値観の多様化や人権尊重の観点を持った校則改定を促している。(政治部・池合通子)

校則見直しの経緯や改定後の変化などを説明した実践発表会
|| 静岡市葵区の教育センター

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/特別活動、道徳、総合)

年 組 名前